

第138回生涯教育研修セミナー

日 時 2026年2月28日(土) 午後 3:00~午後 6:00

方 法 ハイブリット開催 (zoom配信/現地:明治記念館 東館2階「孔雀の間」)

※参加費無料、事前登録制 (お申込多数の場合は先着順となります。)

下記の URL または2次元コードにて **2月22日(日)** までに参加登録フォームにて参加登録をお願いいたします。

現地参加ご希望の場合も参加登録フォームからご登録ください。追って事務局より zoom 視聴用 URL をお送りいたします。

※現地参加ご希望の方にも、zoom 視聴用 URL をお送りいたします。

※登録後1週間以上経っても zoom 視聴用 URL が届かない場合は、恐れ入りますが以下事務局までご連絡ください。

※登録完了後に参加方法の変更を希望される方は、必ず事務局までご連絡ください。

https://keio-univ.zoom.us/webinar/register/WN_66SJdG50Rla9NQa0pwvPdg



参加対象

慶應義塾大学医学部、三四会、慶應医師会、慶應義塾大学関連・紹介病院、
東京都地区医師会に所属する医師

取得単位

日本医師会生涯教育制度参加証交付 1.5単位 (取得カリキュラムコード: 0, 32, 70)

開会の辞

医学部長・慶應医学会会長 武林 亨

挨 拶

三四会会长 武田 純三

テーマ

『身体疾患の陰に潜むこころの病』

身体の症状を主訴とする患者さんの中には、背景に精神疾患や心理的要因が潜んでいることが少なくありません。内科、外科、救急、がん診療など多くの臨床現場において、うつ病、不安症、せん妄、てんかんなどが見逃され、適切な介入が遅れることは臨床上の課題です。本セミナーでは、身体症状の陰に潜む精神疾患やこころの問題を見抜く視点を共有し、全人的な診療の重要性を再考します。

最初に、若手精神科医の尾久守侑先生が、精神疾患と誤診されやすいてんかん発作の見分け方を紹介します。彼は、精神疾患と身体疾患のはざまに強い関心を寄せる、今後の活躍が期待される臨床家であると同時に詩人です（第74回H氏賞受賞）。次に、精神科研修を経たのちに内科医に転じた石田琢人先生が、「精神疾患ミミック」と呼ばれる“一見すると精神疾患のように見えるけれども、実際には身体疾患や神経疾患が原因で生じている状態”を内科専門医・精神科専門医の視点から解説します。最後に、精神腫瘍学分野の第一人者である藤澤大介先生が、がん患者の抱えるうつ・不安・不眠のケアを取り上げ、がん診療において精神的側面にどう向き合うべきかを解説します。

モダレーター 慶應義塾大学医学部 精神・神経科学教室 教授 内田 裕之

1. 『精神疾患に間違われるてんかん発作』

慶應義塾大学医学部 精神・神経科学教室 助教 尾久 守侑

2. 『精神疾患ミミックを見破るために』

東京都立松沢病院 内科 医長 石田 琢人

3. 『5つのガイドラインから読み解くがん患者さんの精神心理的ケア

～コミュニケーション・うつ不安・不眠・せん妄・遺族ケア～』

国立がん研究センター がん対策研究所 がん医療支援部 部長 藤澤 大介

挨 拶

エーザイ株式会社 代表執行役 CEO 内藤 晴夫

閉会の辞

生涯教育研修セミナー委員会委員長・慶應医師会会长 佐々木 淳一

第139回開催予定: 2026年6月6日(土) 開催

セミナー終了後、明治記念館にて、情報交換会を準備しておりますのでご臨席下さい。